

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

町政執行方針・教育行政執行方針

2 安心・安全のまちづくり

本別町の平成22年度のまちづくりの方向を示しています

8 当初予算額111億2127万9千円

特集 平成22年度の主な事業。ソフト・ハード事業別でお知らせします

10 本別町のお金の使いみち

18 4月1日から町公共施設の使用料等が改定になります

20 少年少女文化・スポーツ奨励賞

22 介護相談員等派遣事業

東十勝7町の連携とまちづくり

24 道東道全通に向けた地域振興シンポジウム

国民年金コーナー

26 親子牛乳料理教室

28 第六次本別町総合計画 Part11

29 本別町地域新エネルギービジョン策定委員会

知っておこう

30 新型インフルエンザ

31 本別町が発注する工事等の契約からの暴力団等排除に関する合意書を締結

ハロー仙美里小学校
マイタウン
みんなの健康・銀河ホットライン
ご寄付ありがとうございます
本のある暮らし・わたしたちのまち

27
32
34
35
36



春がら小学生

4月から1年生になる中央保育所の子供たち。元気に学校に通ってね！

安心・安全のまちづくり

町政執行方針

三月二日の町議会第一回定例会で、町政執行方針と教育行政執行方針が述べられ、平成二十二年度のまちづくりの方向性が示されました。その概要をお知らせします。

また、昨年の町長選挙におきまして、町民の皆さまの信任をいただき、引き続き四期目の町政を担うことになりました。「協働で安全・安心のまちづくり」を重点目標に、さらなる本別町の発展を目指して、全力を傾注してまいります。



町政執行方針を述べる高橋正夫町長

町政に臨む基本姿勢

昨年、「脱官僚、国民生活重視、地域主権」を掲げた新政権が誕生いたしました。なかでも、鳩山内閣の基本方針として「地域主権」については、夏までに「地域主権戦略大綱」の策定が予定されており、国と地方の関係が根本的に見直

「ほんべつならでは」の発信

一つ目は、町民参画のまちづくりであります。本別町は町民と行政がお互いの役割を明確にする中で、成熟した協働のまちづくりを目指して努力をしています。今後この町よりも町民がふるさとを思う「ほんべつならでは」の心意気を発信してまいります。

町財政では、地方交付税は「地域主権改革」の第一歩として地方が自由に使える財源の増額をしていますが、町税の減少など歳入の確保が難しく、さらに福祉・医療などの地方負担が増加し、行政需要に対する財源不足が生じるなど、依然として厳しい状況にあります。新年度の予算編成にあたっては、事業の選択と限られた財源の集中に努め、生活に密着した事業の確保と町民が夢と希望の持てる施策の展開を図ります。

育て支援の充実など、「ほんべつならでは」の創造的な「福祉でまちづくり」を発信してまいります。三つ目は、元気な豆のまちほんべつです。本町の肥沃な大地と、恵まれ

た気候の中で育まれた農産物は、極めて良質、安全・安心な食材として全国に出荷されており、特に「ほんべつならでは」の良質な豆を加工した製品の開発や製造が進められてきています。本年度も引き続き、本別ブラ

ンド「キレイマメ」の取り組みなど「日本一の豆のまち」を全国へ発信してまいります。さらには、資源回収率向上やエコ活動の充実などによる「環境にやさしいまち」、戦争の悲惨さや空襲を体験したまちとし

て、平和の願いや命の大切さを後世に伝える「平和のまち」や、本との出会いやふれあいを通して、感性や創造力を高め、人生をより豊かなものにする「本のまち」を発信してまいります。

平成二十二年度 主要な施策推進の基本的な考え方

① 健やかであたたかな心 あふれるまちづくり

本町は、参加・連帯・自立を理念とした「健康長寿のまちづくり条例」を基本に、「人」にやさしい町民すべてが家族のまちづくりを築いてまいります。

業の実施および介護サービスの適切な提供を図るとともに、認知症に対する啓発普及活動を町民の皆さまと協力して推進し、住み慣れた地域で安心して生活できるサービス基盤の充実に関係機関と連携して取り組んでまいります。

また、発達遅れや障がいのある幼児・児童への相談支援の充実を図るため、発達支援センター（ことばの教室）を中心に、関係機関と連携して対象児童の早期発見とその適切な対応を図ってまいります。

また、昨年の春に国内で発生した新型コロナウイルス感染症も沈静化しつつありますが、ワクチン接種を継続することとしております。



戦争の悲惨さを後世に伝える「わが町の七月十五日展」

高齢者福祉、介護保険事業につきましては、本別地区に小規模多機能型居宅介護事業所を事業主体の社会福祉協議会と協議し開設することとしたしました。この開設により介護保険サービスの提供がさらに充実することとなります。また、「地域包括支援センター」の機能充実に努め、介護予防モデル事

障がい者福祉につきましては、相談支援体制の確立や障がい福祉サービス・地域生活支援事業など、各種サービス基盤の充実を図るとともに、居住環境の整備、就労支援などの自立した生活への支援を行います。また、町内NPO法人や関係団体等への活動支援など、障がいに対する町民理解の推進や社会参加の促進に向けた取り組みを進めてまいります。

健康管理センター事業につきましては、四十歳から七十四歳までを対象とした「特定健康診査・特定保健指導」の計画目標の達成に努め、保健・医療・福祉との連携を図り各種検診業務を実施してまいります。特に、今年度は五年に一回の全町民を対象にしたエキノコックス症検診を実施することとしております。また、各種がん検診を実施して

きましては、受診対象者を三十三歳以上とし、昨年度から実施しているクーポン券による子宮頸がん・乳がん検診も継続して実施いたします。予防接種につきましては、就学前の幼児および高齢者の季節性インフルエンザ予防接種への一部助成を継続し、麻しん・風しんにつきましても、引き続き中学一年生と高校三年生も対象に実施してまいります。



生活維持路線バス「浦幌線」の運行が拡大されます

はじめ、その他の公園施設についても効率的な維持管理を行い、町民の憩いとふれあいの場としての快適な環境づくりに努めてまいります。

次に、ふるさと銀河線代替バスについては、公共交通機関として安定的な運行が図れるよう努力するとともに、生活維持路線バス「浦幌線」の運行拡大を進めてまいります。

北海道は、高千穂線から一括譲渡された鉄軌道跡地については、隣接する地権者と協議が整った地区について、本年度から用地確定測量を実施してまいります。

なお、四年目となる国のまちづくり交付金を活用した、ふるさと銀河線旧駅舎と周辺整備事業につきましては、旧本別駅と旧岡女堂駅および周辺整備を引き続き進めてまいります。

国は、全ての国民が高速度通信を利用できる環境づくりを目指しており、本町においても高速通信サービスの整備を図り、情報格差とデジタル放送難視地域の解消に取り組んでまいります。

防災関係では、災害に対する地域自主防災組織の体制づくりや防災への



さらなる充実が図られる子育て支援

のニーズや状態に合ったサービスを提供し、可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援を行い、利用者に信頼される施設運営に努めてまいります。

後期高齢者医療特別会計につきましては、国により制度が見直される見込みがありますが、今後とも老人等にかかる医療制度の情報収集を続け、改正内容を適切にお知らせしながら、制度の定着に向けて努力してまいります。

医療体制につきましては、本町は常勤医師七人を確保し、昨年は医療機能評価認定病院の更新をするなど、医療水準の向上に努め成果をあげてまいりました。

今後も町民、診療圏域住民が、「いつでも」「どこでも」「安心して」暮らせる地域社会を医療面から支える病院を目指し、周辺地域の拠点病院としての役割を担ってまいります。

診療体制は、内科、外科の基礎診療科を中心に、一・五次医療として耳鼻咽喉科、眼科など、町民の医療ニーズに応えた専門診療科の充実・拡大を図ってまいります。

また、患者サービスの向上のため、引き続き接遇の改善に努めながら、町民の皆さまに病院運営に参画していただく活動を推進し、地域に開かれ、信頼される病院づくりに取り組んでまいります。

② ふれあい・豊かな心を育む まちづくり

子供たちは、次代を担う宝です。すべての子供たちがこのふれあいを大切にし、自ら学び自ら考え、課題解決する力を育むことや、感性豊かで心身ともにたくましく生きることのできる力の育成が求められています。

このため、子どもたちの安全・安心な環境の確保と、家庭・学校・地域が一体となって子育てや家庭教育に関するきめ細かな支援体制を図るとともに、情報の提供や様々な体験活動の機会充実に努めてまいります。

また、本町は子どものみならず、豊かな知恵と経験を備えた高齢者まで、生涯各期において自発的に学び、まちづくりに参画していただく生涯学習の推進を目指してまいります。

町民の方々の多様な学習の機

会を通して、学びの成果を日常生活や地域活動等に生かすために、町民一人ひとりが主体的に学び続けることができる環境づくりを進め、まちづくりへの参画を促し、快活な地域文化の創造といきいきとした地域コミュニティの基盤形成に努めてまいります。

③ 自然にやさしい心を大切に潤いのあるまちづくり

政府が表明した国内の温室効果ガス排出量を二〇二〇年までに二五％削減する目標を受け、本町では、昨年度に新エネルギービジョンを策定しました。

その中長期計画に基づき、本年度は、公共施設の建て替えに伴う太陽光発電システムの整備と一般住宅に対する太陽光発電システム導入に係る補助制度を設け、新エネルギー対策の推進を図ってまいります。

また、環境にやさしいまちづくりの一環として、街路灯のLED化を進め、集光性のある害虫被害への予防対策としても早急に対応してまいります。

ごみ処理事業の推進につきましては、地域、町民の皆さまのご協力により、活発に資源集



街路灯のLED化を進め環境にやさしいまちづくりを推進します

公営住宅整備につきましては、住環境の向上を図るため、本別町住宅政策推進計画に基づき、栄町団地の建替事業と向陽町団地の改善事業に向けた入居者の移転を実施いたします。

生活道路である町道整備につきましては、継続事業の町道美蘭別活込横断道路ほか五事業と旧神社踏切の道路整備にかかる予備調査を実施してまいります。

公園緑地の整備につきましては、全道各地から観光客が訪れます「義経の里本別公園」をは

意識向上を図ってまいります。

水道は、町民生活や経済活動を支える施設として重要な役割を担っており、施設の整備や維持管理を計画的に進め、安全で良好な水を安定的に供給できるように努力してまいります。

下水道は、浄化槽整備事業についても、引き続き事業の推進を図ってまいります。

④ 大地の心に響きわたる活力にみちたまちづくり

本町の農業は、わが国の食料基地として、また、地域を支える基幹的な産業として発展するとともに、国土や環境の維持・保全など多面的な機能を発揮し、本町の経済社会の基盤として大きな役割を果たしています。

このような状況の中、国は、国内農業が継続できる環境を整備し食料自給率向上を図るため、平成二十三年度から畑作等を含めた「戸別所得補償制度」の本格実施に向け、円滑な制度運営の確立と事業効果を検証するため、米戸別所得補償のモデル対策を実施するとしています。

こうした状況に対処するため、関係機関と連携を密にして、諸施策の実現に向けた取り組みを



農業は地域を支える基幹産業であり、我が国の食料基地としての役割も担っています

進めてまいります。

具体的には、農業経営基盤強化資金や冷温害対策資金等に対する利子補給、担い手育成・確保のための対策、被害が拡大しつつある、有害鳥獣被害防止対策、地場産品の付加価値向上対策、地力維持増進のための有機物施用による土づくり対策など、効果的かつ持続的な施策を展開してまいります。

三年目となる「農地・水・環境保全向上対策」においても、地域ぐるみで効果の高い共同活動を目指し、農道や農業用排水路等の維持管理および良好な環境保全を図ってまいります。

畜産振興は、飼養管理技術の向上と乳質改善、粗飼料基盤の

整備・拡大等を進め、良質な安全・安心な生乳生産体制を確立するとともに、優良繁殖牛導入事業等の実施による黒毛和牛経営の維持・拡大を図り、経営の安定化・近代化対策を講じてまいります。

また、環境保全型農業の確立に向け、家畜排せつ物の適正管理を徹底し、良質な堆肥生産と家畜自衛防疫体制の強化を進めてまいります。

次に、林業の振興につきましては、世界的な金融危機が景気の減退を引き起こし、木材価格の低下に歯止めがかからないなど消費全般が冷え込み、林業・木材産業にとつて依然として厳しい状況にあります。

森林は、国土の保全、水源のかん養および地球温暖化の防止など、多面的機能を有しています。この多面的機能の啓もうおよび緑化思想の普及を推進するため「(仮称)桜もみじの山」において植樹祭を実施し町民の皆さまに親しまれる山づくりを目指します。

商工業については、大変厳しい社会情勢となつていの中で、消費の拡大を目指し、引き続き関係団体と連携し、「地産地消」「地商地買」の推進に努めるとともにプレミアム商品券の取り組みなど、商工業の振興を図つ

2010.4



心身ともに健康で充実した生活を送るためにスポーツの充実を図ります

障がいを持つ児童生徒への特別支援教育の体制整備に努め、特別支援教育支援員を引き続き配置し、町内における特別支援教育の充実を図ってまいります。

昨年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

協会の協力により、本年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

協会の協力により、本年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

協会の協力により、本年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

協会の協力により、本年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

協会の協力により、本年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

協会の協力により、本年度、新しいインフルエンザの影響により、中止した国際交流事業を実施し、参加対象者を拡大し、昨年度の該当者も含めて、

主要施策の推進

全国学力・学習状況調査を継続実施し、課題解決に向けて、各学校の改善策と取り組みの指導助言および情報提供など、適切に支援してまいります。

児童生徒の「心の悩み解消」と「いじめ・不登校等」など児童生徒の対応にあたり、これらの未然防止や早期発見・早期対応に努め、きめ細かな生徒指導の一層の充実を図ってまいります。

てまいります。

観光の拠点として、様々な取り組みが予定されている道の駅「ステラ★ほんべつ」



次に、観光振興につきましては、昨年開設した「道の駅」を拠点として、農業者や商工業者の皆さまと連携し、観光や特産品販売などさまざまな取り組みを進めるとともに、十勝東北部四町で進めています産業体験型観光の修学旅行の受入についても、引き続き取り組んでまいります。

また、全道各地から観光客が訪れる「義経の里本別公園」一帯の利用促進に努め、多くの人に楽しんでもらえるよう取り組みを進めてまいります。

⑤心合わせ元気ないきいきとしたまちづくり

現在、第二期の地方分権時代を迎えておりますが、真の分権改革には、国の実質的な決定権や財源を自治体に移譲し、地方が自ら考え、実行できる体制整備が不可欠であります。

地方分権全般に関しましては、引き続き住民自治および住民生活の利便性確保を基本に、町民の皆さまならびに議会の意向を十分に踏まえるとともに、十勝

近年の大きな社会環境の変化は、町民すべての生活と教育環境への影響も大きく、子どもたちの学校教育への懸念もありません。このことから「ほんべつ学びの日」の理念と趣旨への理解を深め、普及啓発の取り組みを進め、あらゆる町民の学習ニーズに応えながら、芸術文化と健康スポーツの振興を図って、本



教育行政執行方針を述べる 若木佳則教育委員長

教育行政執行方針

町村会とも連携を図り、真の地方自治の確立に向け努力をしてまいります。

また、地方分権型社会の構築のため必要不可欠である協働型社会の形成につきましては、町民が地域や自らの課題に関心を抱き、自発的に活動を進め、町民と行政が対等なパートナーとして

しての関係を築くことが必要と考えており、併せて、行政の持つ情報を積極的に公開し、町政の「透明性・公平性」に努め、協働型社会の醸成に向けた環境づくりを積極的に進めてまいります。

行政改革の推進につきまして、第四次行政改革大綱（集中

改革プラン）および推進計画の策定を図り、取り組みを進めてまいります。

今後も厳しい行財政運営が予想される中で、町民の皆さまの理解を得ながら、一歩踏み込んだ行政改革を推進し、財政基盤の確立と健全な町政運営に向け努力をしてまいります。

教育行政執行の基本的な考え方

豊かな人間性を育むために、

町の希望である、明日の本町を担う子供たちが、主体的にたくましく生き抜く力を育んでいくことが重要であります。

は、地域のボランティアによる学校運営を支援する体制を構築し、学校からの要望に応じて地域の教育力を調整しながら、地域との関わりや支えの中で子供たちを健やかに育むため、より効果的な学校支援に努めてまいります。

公民館は、町民が主体的に取り組む趣味や教養などの公民館講座や子供たちにもものを作る楽しさを体験してもらう教室の開設のほか芸術文化活動の促進を図るため、個人やサークル、文化団体と連携し、展示会や各種発表会など自主的な文化活動に対する支援協力に努めてまいります。

また、町民に心の豊かさやうるおいのある生活を提供するため、関係団体と連携し生の芸術文化鑑賞の参加機会の充実にも努めてまいります。

図書館は、町民の多種多様な学習ニーズに応える図書館資料の充実にも努め、ボランティアと連携した「子どもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」を開催し、本の楽しさ、大切さを啓発し、読書活動の普及に努めてまいります。

また、妊婦の時から手作りの絵本を通して、胎教からの読み聞かせを認識し、絵本を通して親子の触れ合いが心の財産となるように、「フリーストブック

事業」を継続してまいります。さらに、学校で教科書の教材として扱われている創作落語の作者を招き、児童との授業の中で「聞く・読む・話す・思い描く力」を身に付ける取り組みを進め、児童の感性や学力向上を図ってまいります。

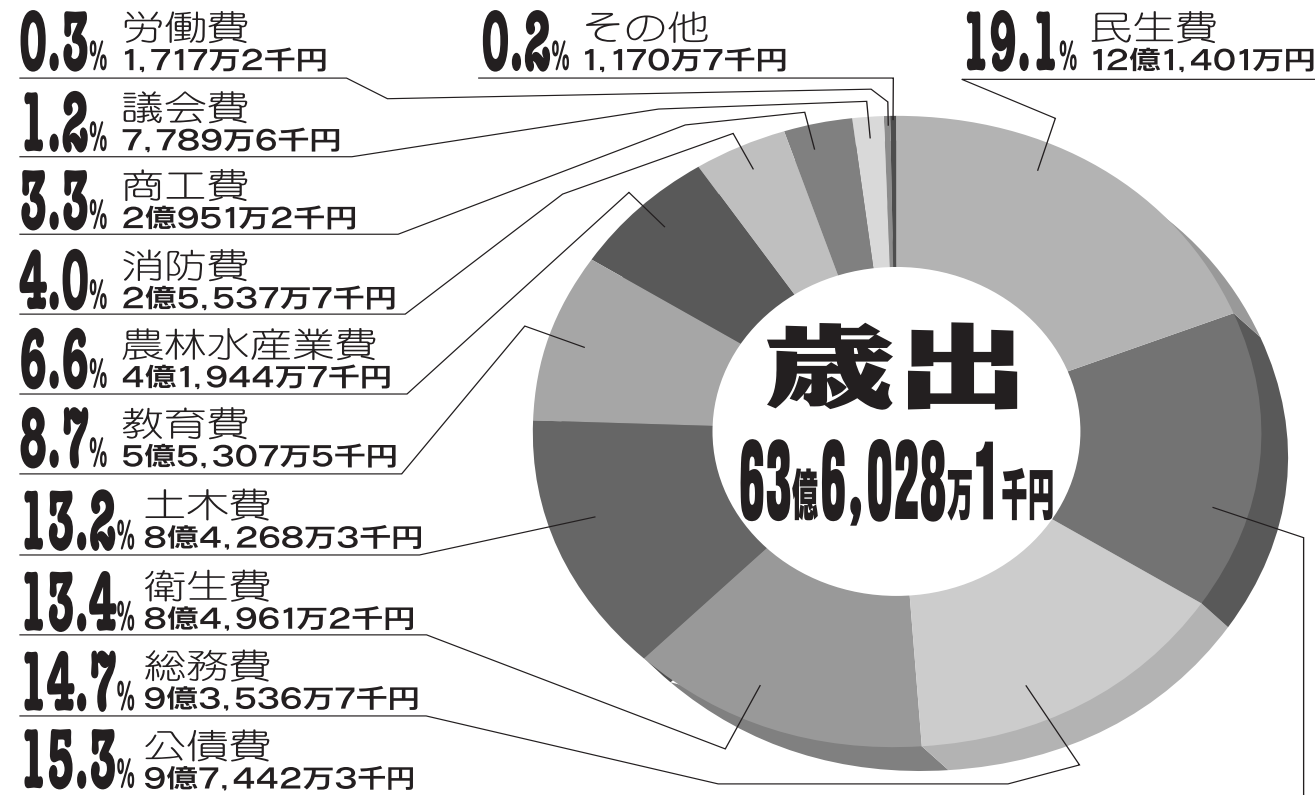
資料館は、太平洋戦争末期の沖繩戦の悲劇「ひめゆり学徒隊」の史実を通して、命の大切さ、復興の力や平和の願いを伝える特別展「わが町の七月十五日展」を開催いたします。また、企画展示では本別公園の魅力と不思議さを自然と歴史の側面から、本町の貴重な歴史や文化を伝えてまいります。

社会体育は、町民が心身ともに健康で充実した生活を営むために、それぞれの体力や年齢に応じて気軽にスポーツを楽しむ健康づくり教室やメタボリック撃退教室、ならびに高齢者の義経教室など様々な機会を利用して健康や体力維持増進の意識向上や軽スポーツの普及に努めてまいります。また、町民が生涯にわたってスポーツに親しみ、生活の中に取り入れられるよう意識の啓発に努めるとともに、体育施設の利用拡大と各スポーツ団体の活動の支援などを通してスポーツの振興と活性化を図ってまいります。

平成22年度 111億2,127万9千円

一般会計 63億6,028万1千円
 特別会計 29億5,169万円
 企業会計 18億930万8千円

財政基盤の確立と生活に密着した事業の確保、町民が夢と希望の持てる施策の展開を図ります



平成22年度予算編成

平成22年度の各会計予算規模は、一般会計および特別・企業会計を合わせた総額で、111億2,127万9千円となり前年度当初と比較しますと0.9%の減となっております。新年度予算の編成にあたっては、徹底した経常経費の削減、事業の選択と限られた財源の集中に努め、生活に密着した事業の確保と町民が夢と希望の持てる施策の展開を図りつつ、一方で基金依存度を縮小し、後年度に負担を残す地方債借り入れの抑制など、将来に向けた財政基盤の確立に配慮しました。

一般会計予算の概要

一般会計予算の総額は、63億6,028万1千円で、前年度当初予算59億4,630万6千円に比較し、7.0%の増となっております。

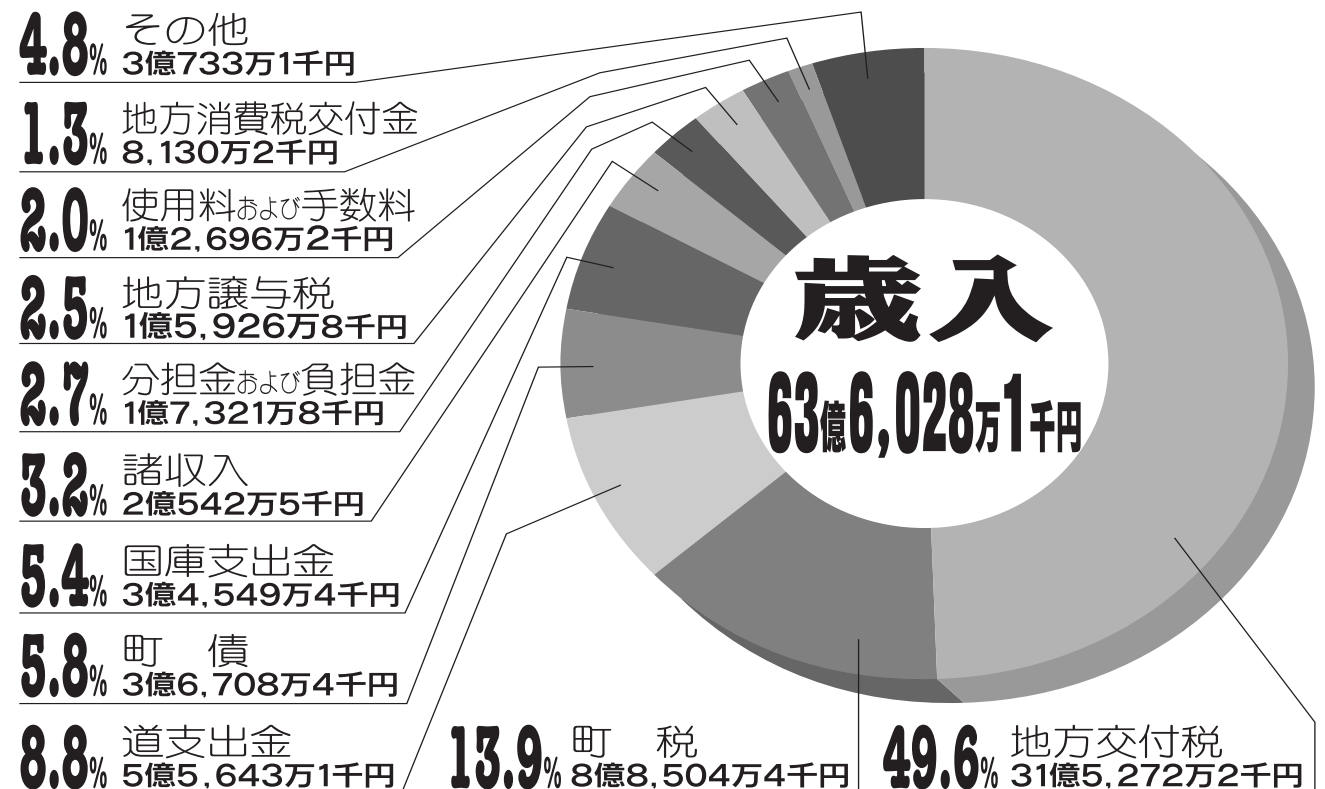
歳入につきましては、町税は、歳入の13.9%を占めておりますが、前年度当初予算と比較し、1,005万5千円、1.1%減の8億8,504万4千円を見込んでおります。主な要因としては、町民税個人所得割が1,095万円、3.4%減となり、町民税総額で1,172万4千円、3.0%の減、固定資産税は380万4千円、0.9%の増となっております。地方交付税は、総額で歳入の49.6%を占め、本年度は「雇用対策・地域資源活用臨時特例費」「活性化推進特例費」が創設され、基準財政需要額の伸び率は、個別算定経費が4.0%程度の増、包括算定経費が3.0%程度の増と想定されることから、前年度当初予算と比較し9,331万6千円、3.1%増で見込んでおります。繰入金は、前年度に対して3,960万円、16.5%の減ですが、財政調整基金は前年度同額の1億円、減債基金は8,910円減の1,090万円、ふるさと銀河線跡地活用等振興基金は2,080万円減の1,600万円、新たに職員退職手当基金を7,000万円繰入りました。地方債は前年度に対して1億1,930万円、24.5%の減となっておりますが、医療機械器具、消防施設および臨時財政対策債の2億448万4千円を除く建設事業充当分は1億4,460万円で、前年度1億9,790万円に対して5,330万円、26.9%の減となっております。

歳出につきましては、投資的経費は9億3,538万5千円を計上しており、前年度当初と比較し3億2,105万6千円、52.3%の増となっております。雇用対策は、国の緊急雇用創出事業として1,191万6千円、季節労働者雇用対策として369万8千円、ワークシェアリング枠として501万8千円（高校生3人）を計上いたしました。

厳しい財源不足から難しい編成となりましたが、常なる行政改革を推進し、事務事業評価を実施しながら、少ない経費で最大の効果を生み出せるよう努め、健康、福祉、医療、農業基盤、教育そして命と暮らしを支える施策を展開し、地域の活性化につながる予算としております。

各会計別当初予算額 (単位：千円・%)

会計区分	本年度A	前年度B	差引(A-B)C	C/B×100
一般会計	6,360,281	5,946,306	413,975	7.0
特別会計				
国民健康保険	1,334,619	1,407,438	△ 72,819	△ 5.2
老人保健	428	3,517	△ 3,089	△ 87.8
後期高齢者医療	107,174	98,665	8,509	8.6
介護保険事業	693,516	690,580	2,936	0.4
介護サービス事業	262,135	258,037	4,098	1.6
簡易水道	87,590	182,243	△ 94,653	△ 51.9
公共下水道	466,228	725,109	△ 258,881	△ 35.7
小計(1)	9,311,971	9,311,895	76	0.0
企業会計				
水道事業				
収益的収支				
収入	146,716	146,690	26	0.0
支出(2)	146,716	146,690	26	0.0
資本的収支				
収入	50,600	61,939	△ 11,339	△ 18.3
支出(3)	97,295	116,474	△ 19,179	△ 16.5
病院事業				
収益的収支				
収入	1,343,851	1,314,714	29,137	2.2
支出(4)	1,460,167	1,440,392	19,775	1.4
資本的収支				
収入	75,365	178,028	△ 102,663	△ 57.7
支出(5)	105,130	205,017	△ 99,887	△ 48.7
合計(1)+(2)+(3)+(4)+(5)	11,121,279	11,220,468	△ 99,189	△ 0.9



特集

本別町のお金の使いみち

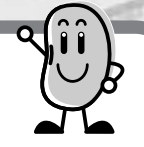
今年度主な事業あれこれ

☆印は新規事業です

平成二十二年年度の一般会計予算の主な事業について、ソフト事業、ハード事業に分けて説明します。

ソフト事業編 Part 1

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む



☆本別町史制作
(平成22～23年度)
開町110年に向け町史(110年史)を制作します。 **5,933千円**

本別町行財政改革の推進
・適正な定員管理の推進
・人事給与制度の見直し
○期末勤務手当役職加算の停止
・事務事業評価調整および補助金の見直し
・町民による外部評価の実施

☆第6次本別町総合計画策定
(計画期間：平成23～32年度)
1,232千円

雇用対策事業
・緊急雇用創出事業臨時特例交付金事業
○公営墓地環境整備事業および害虫(マイマイガ)駆除事業 **7,575千円**
○明渠排水環境整備事業 **4,341千円**
・季節労働者雇用対策 **3,698千円**
・ワークシェアリング枠(高校生3人) **5,018千円**

☆消費者行政活性化事業
消費者対策に対する消費生活相談員の研修、啓発パンフ、関係備品の整備をします。
2,092千円

☆プレミアム商品券実施事業
地域商工業の活性化および景気対策として、また本別町商工会設立50周年記念事業のため商工会に補助します。
・5,000万円分の商品券を発行、額面12,000円(20%上乘せ)
9,500千円

「道の駅」関連事業
町の観光および特産品販売の拠点施設として、道の駅「ステラ★ほんべつ」の運営支援をします。
・特産品販売の支援
・イベント支援
10,424千円

☆生活維持路線バス(浦幌線)の運行拡大
現在平日夜1回の運行を、平成22年度より休日朝夕の運行を拡大します。
3,615千円

地域福祉計画策定
(計画期間：平成23～27年度)
279千円

☆災害時要援護者避難支援計画
(地域との協働により実施)
災害時における要援護者の避難支援の全体計画・個別計画を策定します。

☆エキノコックス症検診
(全町民対象)
1,117千円

不妊治療助成事業
(1年度2回) **100千円**

特定健診および各種がん検診の充実
平成21年度から乳がん検診を30歳から対象(クーポン券による子宮頸がん・乳がん検診を含む)としています。
11,211千円

地域活動支援センター事業
・町内小規模作業所 **6,096千円**
・広域利用促進 **340千円**

☆乳幼児等医療費助成事業拡大
子育てを支援するため、8月から町独自で中学生までの入通院の助成を拡大します。
1,517千円

☆安心生活創造事業
一人暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう「見守り」や「買い物支援」を行う厚生労働省のモデル事業
10,000千円

麻しん・風しん予防接種
中学1年生・高校3年生を対象に平成24年度まで実施。
2,210千円

妊婦健康診査助成
(助成回数14回)
5,607千円

☆子ども手当
平成22年度に創設される「子ども手当」を交付します。
130,760千円

インフルエンザ予防接種助成
・季節性インフルエンザ **1,395千円**
☆新型インフルエンザ **396千円**

障がい者自立支援給付等
・身体障がい者等 補装具給付・修理 **2,222千円**
・自立支援医療 一般医療(人工関節等) **150千円**
人工透析 **23,419千円**
精神障がい者通所交通費助成 **119千円**
・介護給付・訓練等給付 身体障がい者 **18,383千円**
知的障がい者 **91,980千円**
精神障がい者 **2,551千円**
障がい児 **368千円**
・特別対策事業(事業運営円滑化事業等) **1,443千円**
・地域生活支援事業 **15,053千円**
ピアカウンセリング派遣事業
日常生活用具給付事業 移動支援事業
更生訓練費給付事業 日中一時支援事業
生活サポート事業 社会参加促進事業
身体障がい者自動車改造費助成
肢体・言語・情緒障がい児通園助成
コミュニケーション支援事業
総事業費 155,688千円

障がい者等相談支援事業 **600千円**

介護サービス事業特別会計

- ・本別町指定居宅介護支援事業所の運営
- ・本別町指定予防支援事業所の運営

33,139千円

介護保険特別会計地域支援事業

1. 介護予防事業

- ①通所型介護予防（運動器機能向上・栄養改善など）
- ②訪問型介護予防（うつ・認知症・閉じこもりの予防と支援）
- ③地域介護予防活動支援（地域活動組織の育成と支援）
- ☆④介護予防実態調査分析支援事業（モデル事業の実施）

16,666千円

2. 包括的支援事業（地域包括支援センター）

- ①介護予防マネジメント
- ②総合相談支援／権利擁護／虐待防止支援
- ③包括的継続的マネジメント

22,734千円

3. 任意事業

- ①家族介護支援
 - ・認知症高齢者見守り事業（やすらぎ支援事業）他
- ②その他事業
 - ・介護相談員派遣事業
 - ・成年後見制度利用支援事業 他

3,298千円

病院事業

☆生化学自動分析装置更新

検体検査の迅速化、検査精度の向上

13,125千円

☆眼科外来診療の拡充

現在の週1回のほかに、月1回の診療枠の拡充。さらに緑内障早期発見、治療のための視野検査開始。

876千円

医療機器購入

（多機能心電図計更新ほか）

12,655千円



ソフト事業編 Part 2

活動や仕組み、技術、情報、サービスなど
※ソフト事業目的のため整備されるハード事業を含む

本別高校の教育を考える会補助金

- ①一般事業
 - 本別高校パンフレット、PR用チラシ作成
- ②進路指導対策事業
 - 進路意識啓発講演会、進路指導講師^{しほへい}招聘、視察研修費、資格取得補助費、オープンキャンパス参加補助
- ③学力向上対策事業
 - 模擬試験受験補助：進学・就職模擬試験受験料補助
 - 教材活用費：駿台予備校サテライトDVD購入
- ④特別活動支援
 - 部活動補助、大会参加交通費支援、外部指導者謝礼
- ⑤通学費支援
 - 遠距離通学補助、下宿補助

8,152千円

☆新学習指導要領に基づく社会科副読本の更新

新学習指導要領で定められた新しい内容を掲載した、小学校3年生と4年生で使用する社会科副読本（地域学習書）を更新整備します。

1,991千円

メタボリック撃退教室の開設

運動指導と栄養指導を組み合わせ、日常生活において適正な食事や運動を取り入れることの習慣づけを図るため、昨年に引き続き開設し、町民の健康と体力の向上に努めます。

家庭教育支援事業の推進

幼少期の子どもを育てる親への支援として、より充実した子育て支援や家庭・地域の教育力の向上に向けた取り組みを引き続き推進します。

161千円

町文化協会・町体育協会 創立50周年記念事業の支援

創立50周年の大きな節目の年に当たることから、記念事業への支援を行い、文化・スポーツのさらなる推進を図ります。

600千円

「ほんべつ学びの日」関連事業

家庭・学校・地域が融合し、大人と子どもが一緒になって学びへの関心を高める「ほんべつ学びの日」を、広く町民に普及啓発し、学習意識の高揚と地域の教育力向上を図ります。

国際交流研修 オーストラリア・ミッチェル訪問



中・高生を姉妹都市に派遣し国際理解教育の推進と、交流、親善を深めます。

3,538千円

小学生小松島市交流研修

姉妹校である小松島市立江小学校と勇足小学校の児童を相互に派遣し交流を深めます。

600千円

資料館特別展示「わが町の七月十五日展」と企画展「ほんべつ公園の歴史と自然」の開催

沖縄戦の悲劇「ひめゆり学徒隊」の史実を通して、命の大切さや復興の力、平和への願いを伝えていきます。

また、企画展は本別公園の魅力と不思議さを、自然と歴史の側面から伝えていきます。

300千円

☆読書力向上に向けた取り組みと「子どもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」の開催

小学校の教科書に教材として作品が掲載されている創作落語の作者「三遊亭圓窓」師匠を招き、学校の授業での取り組みや、一般町民を対象にした講演会を開催し、本の楽しさや大切さなどを啓発し読書活動の普及に努めます。

300千円



ハード事業編 Part 1

建物、道路などの事業

このほか
道路整備事業として
事業費55,000千円
で3か所の町道整備
を行います

町道東下東1線道路舗装

(平成20~22年度)

〈舗装工事〉 総延長438m
幅員=4.0m
舗装=346m

14,200千円

☆小規模多機能型居宅介護施設 共生型交流拠点施設整備事業 (本別地区)

・本別町社会福祉協議会へ建設補助金の交付

71,000千円

☆エネルギー対策の推進

平成21年度に策定した本別町新エネルギービジョンに基づき、地球温暖化対策に取り組みます。

- ・太陽光発電システム導入補助金
 - 一般住宅 7万円/1kw
(上限=4kw、28万円) 10件

2,800千円

- ・太陽光発電システム導入啓発

193千円

町道横断バリアフリー化

車いす、乳母車、目が不自由な人などがスムーズに横断できるよう歩道の一部を改良します。高齢者が住みやすいまちづくり事業の一環です。

1路線2か所

4,250千円

公営住宅建替事業

栄町団地公営住宅建替
木造平屋 1棟4戸
団地内道路整備など

77,534千円

☆本別沢テレビ 中継局整備事業

地上デジタル放送難視聴地域(東町、向陽町、柏木町)の対策を図るもの。

・設置工事、有償譲渡

26,355千円

まちづくり交付金事業 (5か年計画の4年目)

～ふるさと銀河線旧駅舎と周辺整備事業の推進～

快適でうるおいあふれる生活環境の整備、新たな活力を生む商工業の振興、地域に根ざした特色ある観光を中心としたまちづくりの推進を柱に、道の駅を含めた旧本別駅舎周辺をはじめとする旧銀河線周辺整備について、国のまちづくり交付金事業を活用して進めるもの。

- 日本別駅舎および周辺整備
 - ・跨線橋調査業務
 - ・農産物加工施設実施設計業務
- 旧岡女堂駅および周辺整備
 - ・観光情報センター情報板設置工事

8,254千円

町道上押帯幹線道路 道路改良舗装

(平成14~23年度)

〈改良舗装工事〉
総延長=1,374m
幅員=5.5m
改良舗装=300m

15,000千円

☆北海道街路事業 (平成22~23年度)

○3・4・5本別公園通
・用地取得、物権移転補償

160,104千円

☆旧ふるさと銀河線跡地の対策

用地確定測量(池田町界から北海道糖業裏まで)
延長=6.76km

16,000千円

ハード事業編 Part2

建物、道路などの事業

**☆アイヌ農林業
対策事業**
施設、機械等整備
76,296千円

**☆桜ともみじの
山造成事業**
(新生地区)
〈整備〉0.58ha
〈植樹祭〉108本
2,727千円

**21世紀北の森づくり
推進事業**
〈民有林の植栽〉50ha
7,100千円

**畜産担い手育成
総合整備事業**
(平成21~24年度)
飼料基盤整備等 8.06ha
牛舎・バンガローサイロ 1基
211,400千円
(受益者負担分 100,258千円)

**農地・水・環境保全
向上対策事業**
環境の良好な保全と資質の向上を
図ることを目的として、農業者と地
域住民が農道や農業用排水路等の維
持管理および環境保全管理の取り組
みを行います(対象16地区)。
47,864千円
(本町負担分 11,996千円)

農業農村整備事業の推進
道営事業 新規地区計画書作成 **3,000千円**
(本町負担分 200千円)
小規模土地改良事業 1地区 **10,000千円**
本別地区土地改良施設補修工事 2地区
8,000千円

☆勇足保育所新築工事
森林整備加速化・林業再生事業により、木
材の利用促進と太陽光発電を利用した施設
・新築工事(太陽光パネル設置)、旧保育所
解体工事、外構工事 **96,458千円**

町有林造林事業
(フラツナイ、新生、芽登地区)
〈新植〉7.67ha
〈下刈〉19.65ha
〈補植〉8.89ha **6,927千円**

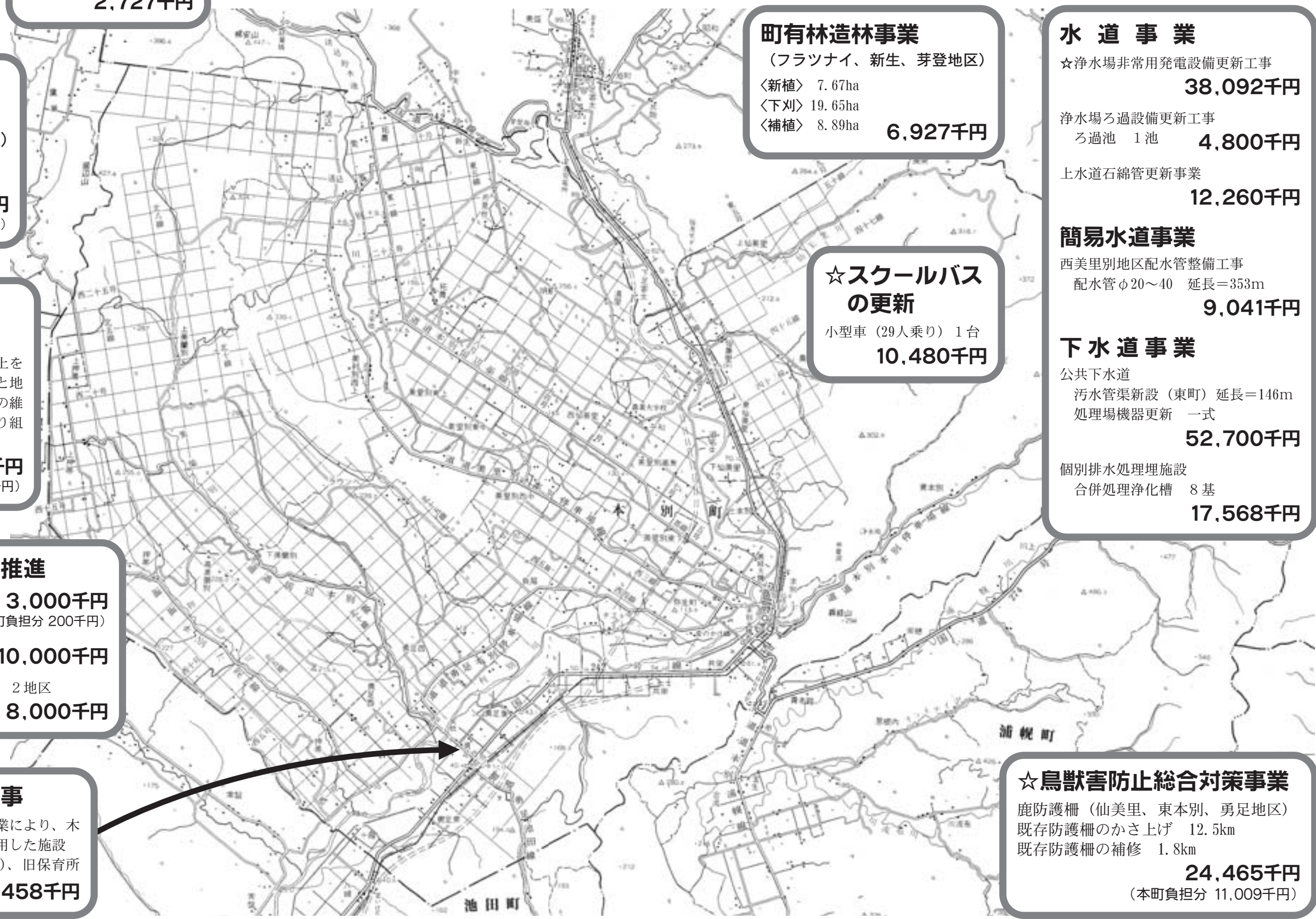
**☆スクールバス
の更新**
小型車(29人乗り)1台
10,480千円

水道事業
☆浄水場非常用発電設備更新工事
38,092千円
浄水場ろ過設備更新工事
ろ過池 1池 **4,800千円**
上水道石綿管更新事業
12,260千円

簡易水道事業
西美里別地区配水管整備工事
配水管φ20~40 延長=353m
9,041千円

下水道事業
公共下水道
汚水管渠新設(東町)延長=146m
処理場機器更新 一式
52,700千円
個別排水処理施設
合併処理浄化槽 8基
17,568千円

☆鳥獣害防止総合対策事業
鹿防護柵(仙美里、東本別、勇足地区)
既存防護柵のかさ上げ 12.5km
既存防護柵の補修 1.8km
24,465千円
(本町負担分 11,009千円)



四月一日から

町公共施設の使用料等が改定になります

本別町使用料等審議会（岡崎勉会長、十二人）では、平成十七年五月に町公共施設使用料の大幅な改定を、社会情勢や経済環境が急速に変化したことに伴い、実情に合わせるため四月からの改定に向けて各関係機関と協議し検証を重ねてきました。

改定のメインは、少子化時代における子供の居場所作りや子ども間の交流、子供の体力づくりなどの「子育て支援」、身体的、精神的な機能回復が必要な「リハビリ者への支援」、利用する町民の「利便性向上」などを盛り込んだ内容となっています。



公共施設使用料が一部改定されたもの

○町内の小・中・高校生および町内在住者で町外の高校に通学する生徒が、次の施設を使用する場合の使用料が**無料**になります

対象施設名	区分	室名	改定前使用料	改定後使用料
本別町体育館	一般開放 (1人1回につき)	大競技室	100円 暖房料100円	無料
		体力増進センター	50円 暖房料100円	無料
本別町町民水泳プール	一般使用 (1人1回につき)		100円	無料
本別町柔剣道場	一般使用 (1人1回につき)	道場	50円 暖房料100円	無料
本別町ふれあい多目的アリーナ	一般開放 (1人1回につき)	アリーナ	100円 暖房料100円	無料

○町民がリハビリを目的として次の施設を使用する場合の使用料が**無料**になります

対象施設名	区分	室名	改定前使用料	改定後使用料
本別町体育館	一般開放 (1人1回につき)	体力増進センター	50円 暖房料100円	無料
本別町町民水泳プール	一般使用 (1人1回につき)		100円	無料

※リハビリ…事故や病気によって生じた身体機能低下部位の機能回復を行うもので、肩こりや腰痛などの慢性的な病気や症状は除きます。利用される人は、証明書が必要になりますので町体育館内スポーツ担当までお越しください

○パークゴルフ場の1か月定期券が**増設**されます

対象施設名	種別	改定前		改定後	
		金額	摘要	金額	摘要
太陽の丘パークゴルフ場	1か月券			1,000円	両施設とも利用可
義経の里パークゴルフ場	シーズン券	5,000円	両施設とも利用可	同左	同左

○町内の小・中・高校生が教育課程の一環で町の施設を使用する場合の使用料が**免除**になります



○町外者が、営利を目的として町の施設の使用許可を受け使用する場合の使用料が、現在の2.5倍から**3.0倍**に引き上げられます

手数料の一部改定について

「連絡測量図」と「字名地番改正図」の複写手数料が、次の通り改定になります。

種類	単位	改定前金額	改定後金額
連絡測量図の複写手数料	1枚	500円	1,000円
字名地番改正図の複写手数料	1枚	500円	1,000円

保育料徴収基準の改定について

現在の保育料は、同一世帯から二人以上の児童が入所した場合、一人目は通常の額、二人目は半額、三人目以降の児童については一割の保育料を徴収していましたが、今回の改定により**三人目以降については「無料」**になります。

受賞おめでとうございます

14個人、6団体

平成21年度 少年少女文化・スポーツ奨励賞

平成二十一年度の「少年少女文化・スポーツ奨励賞授賞式」が三月十三日、中央公民館で執り行われました。受賞者は次の通りです。(敬称略)

少年少女文化奨励賞

【個人】

- 加藤 明日香 (仙美里小2年)
2010カワイイうたのコンクール帯広地区オーディション
小学校1・2年生の部……入賞
- 西村 明莉 (中央小4年)
第22回牛やミルクのある風景絵画コンクール 小学4年生の部
……北海道教育委員会教育長賞
- 西村 虎大佑 (中央小6年)
第15回馬の絵作品展
小学6年生の部……入選



- 一森 大和 (仙美里中1年)
第57回学習図書まつり
「春の学校川柳大賞」……大賞
- 石山 成美 (本別中2年)
平成21年度がん検診50%推進ポスター
中学生の部……全国最優秀賞
第24回全道中学生の税をテーマとした
ポスター……十勝支庁長賞 金賞

- 加納 眞 (本別中2年)
第24回全道中学生の税をテーマとした
ポスター……北海道知事賞 入選
平成21年度十勝子ども大会
「技術・家庭科 家庭科作品の部」
……特選
- 丑若 緋奈子 (勇足中2年)
平成21年度十勝子ども大会
「英語暗唱の部」……最優秀賞
- 上方里 紗 (本別中3年)
第24回全道中学生の税をテーマとした
ポスター……十勝支庁長賞 金賞



- 布施 あゆみ (仙美里中3年)
平成21年度十勝子ども大会
「英語暗唱の部」……最優秀賞

【団体】

- 小川 果蓮 (中央小5年)
第28回毎日こどもピアノコンクール帯
広地区予選会 連弾の部……金賞
- 安部 桃歌 (中央小5年)
第43回カワイ音楽コンクール帯広地区
予選会
ピアノ部門 連弾の部Bコース
……入賞



少年少女スポーツ奨励賞

【個人】

- 前田 愛都 (勇足小1年)
第29回全十勝小学生ミニスプリント選
手権大会
小学1年男子250m……総合第1位



- 岡崎 大眞 (中央小3年)
第17回阿寒ジュニアスプリントスケー
ト選手権大会
小学3年男子500m……第1位
- 太田 龍聖 (中央小4年)
第27回北海道小学生陸上競技大会予選
会兼十勝会場記録会
小学男子4年走幅跳……第1位
第36回全十勝小学校陸上競技大会
小学男子4年走幅跳……第1位



- 田野 泰成 (中央小5年)
第14回少年剣道錬成交流幕別大会
小学生高学年男子の部……優勝

- 眞田 知苑 (中央小5年)
第27回北海道小学生陸上競技大会
小学5年女子80mH……第2位
小学5年女子100m……第5位
第27回北海道小学生陸上競技大会予選
会兼十勝会場記録会
小学女子5年80mH……第1位
小学女子5年100m……第1位
第36回全十勝小学校陸上競技大会
小学女子5年80mH……第1位

【団体】

- 本別水泳スポーツ少年団 (4人)
第12回十勝新春水泳競技大会
女子200mフリーリレー8歳以下
……第1位

本別陸上少年団 (6人)

- 第27回北海道小学生陸上競技大会
小学6年女子4×100mリレー……第6位
- 第27回北海道小学生陸上競技大会予選
会兼十勝会場記録会
小学女子6年4×100mリレー……第1位
- 第36回全十勝小学校陸上競技大会
小学女子6年4×100mリレー……第1位

本別中央ジャンプ スポーツ少年団 (9人)

- 第7回北海道スポーツ少年団バレーボー
ル交流大会……第3位
- 第7回北海道スポーツ少年団バレーボー
ル交流大会十勝地区予選……優勝



- 篠江 香菜 (本別中1年)
第42回カワイ音楽コンクール北海道本
選会
ピアノ部門 連弾の部Bコース
……優良賞

介護相談員等 派遣事業とは

平成12年度に介護保険制度がスタートし、介護サービスの利用者がそれまでの行政の「措置」から利用者の選択、判断に基づく「契約」に移行したのと同時に設けられました。

同事業は、市町村に登録された介護相談員が介護サービス利用者や家族の疑問や不満、不安を聴き、サービス提供事業者や行政との間に立って、問題の解決や手助けをしながら介護サービスの質の向上を図ることを目指すものです。

現在（平成22年3月1日現在）、全国で468市町村がこの事業に取り組み、4,025人の介護相談員が23,647か所の介護サービス事業所を対象に活動を行っています。

本別町でも平成12年11月から介護相談員派遣事業に着手し、現在16の介護サービス事業者が介護相談員を受け入れ、サービスの質の向上に取り組んでいます。

介護相談員



白戸 洋さん

本別町では現在、三人の介護相談員が活動しています。二人一組で介護サービス現場を訪問し、利用者や職員の声を聴いています。年間延べ一八〇〇人の利用者・家族と面談し、そこから把握した要望や不満を事業者



大場 広子さん

に橋渡しをしています。また、利用者から特別な訴えはなくても、介護相談員がサービス提供現場を見て気づいたことを、事業者や行政に伝えることで、サービスの質の向上を図っています。

介護相談員の活動



本寺 良子さん

介護に関するご相談は

介護相談員は月に1～2回、各介護サービス事業所や利用者のご家庭を訪問していますので、お気軽に声をお掛けください。介護に関する相談や介護相談員等派遣事業に関するお問い合わせは介護相談員事務局（地域包括支援センター内）☎22-9222へ。



授賞式の様子

10年の節目を迎えて 「特別賞」受賞

「平成二十一年度全国介護相談活動事例報告会」が三月五日東京都で開催され、本別町はその席上で「介護相談員とともに介護サービスの質の向上に取り組む施設・事業所」の特別賞を受賞しました。

介護相談員等派遣事業がスタートして十年目を記念して送られたこの賞は、町内すべての介護サービス事業者が介護相談員を受け入れることによるサービスの質の向上に取り組んでいるこ

とが認められ、事業を実施している市町村事務局、受け入れ施設事業者、介護相談員から推薦された六十七件の中から選ばれたものです。

表彰式には、町内の介護サービス事業所を代表してアメリテイ本別、介護相談員、町事務局から四人が出席。授賞式終了後は、本別町の現在までの取り組み状況についての報告を行いました。



取り組み状況の報告

東十勝7町の連携とまちづくり 道東道全通に向けた 地域振興シンポジウム

幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町の七町が主催した道東道全通に向けた地域振興シンポジウムが、三月一日に中央公民館で開催されました。小樽商科大学商学部経済学科の船津秀樹教授の基調講演や、道東道全通についてのパネルディスカッションが行われ、関係団体や町民約三〇〇人が参加し、道東道の活用と連携の必要性を考えました。

基調講演

交流人口拡大と地域振興戦略

小樽商科大学商学部経済学科

船津秀樹教授

船津教授は、農林水産物の生産地である十勝と北海道最大の消費地である道央圏を結ぶ道東道の全面開通を利用して、十勝地域経済を活性化させるために長期的な視点に立った着実な地域戦略が必要。緑の価値が高まる今、十勝の特性を生かし、この地域でしかできないことを作り出し道東道利用による交流人口が増え



るように向き投資を考えるとしよう提案しました。

パネル ディスカッション

パネルディスカッションでは、道東道の「六月からの通行料無料化」および「来年度の十勝と道央圏の全面開通」が十勝に与える効果、影響は何か、また、自分たちの戦略をどのようにしていくかを検証しました。

- パネリスト**
 十勝町村会
 会長 高橋正夫
 道東道とかち連携協議会
 会長 野村文吾
 日銀帯広事務所
 所長 河合博
アドバイザー
 小樽商科大学商学部経済学科
 教授 船津秀樹
コーディネーター
 十勝毎日新聞社
 編集局長 小野寺裕

一村一品の開発を！

ストロー効果による人口の増減が見込まれる一方、観光を求めて十勝に入ってくる。十勝の農産物を生かした一村一品、例えばいもちやカボチャもちなどのB級グルメを作り、人を呼び込んでどうか。



河合博所長

安心安全面の確保を！

観光経済が大きく変わるとされる。マスコミによる宣伝効果を味方に、地域の特性を生かした連携が重要。一方、渋滞になった場合の安心安全面や定時制の低下が懸念される。十勝の隠れた資源の発掘のため、移住者の意見を聞くことも一つの手法。十勝全体で連携した情報発信を。



野村文吾会長

十勝の新しい魅力の発信を！

十勝の自然や資源を利用した体験型の観光や海、山、大地など、十勝の新しい魅力を発信していくチャンス。ただ、道東道は一車線であり、渋滞の解消をどのようにしていくかが今後の課題。さらに物流コストの軽減を視野に入れ、空の便との連携も考え、十勝全体のネットワークを強化し、山や海に付加価値をつけた観光プランを。



高橋正夫会長

国民年金

『学生納付特例制度』とは？

その96

学生納付特例制度は、所得が無い学生が将来、年金を受けることができなくなることや、不慮の事故等により障がいが残ってしまった場合に、障害基礎年金を受けることができなくなることを防止するため、ご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。

★本人の所得のみで審査

学生納付特例はご本人の所得のみで判定することになりますが、所得のある人については、基準額以下の場合に特例を受けることができます。

※学生は、学生納付特例制度のみご利用いただけます

★学生納付特例期間の年金はどのくらい？

「納付」と「学生納付特例」と「未納」はこのように違います。

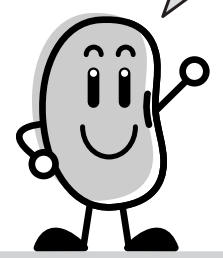
年齢	基礎年金		納付	学生納付特例	未納
	計	算			
20	○	○	○	○	○
21	○	○	○	○	○
22	○	○	○	○	○
23	○	○	○	○	○
24	○	○	○	○	○
25	○	○	○	○	○
26	○	○	○	○	○
27	○	○	○	○	○
28	○	○	○	○	○
29	○	○	○	○	○
30	○	○	○	○	○
31	○	○	○	○	○
32	○	○	○	○	○
33	○	○	○	○	○
34	○	○	○	○	○
35	○	○	○	○	○
36	○	○	○	○	○
37	○	○	○	○	○
38	○	○	○	○	○
39	○	○	○	○	○
40	○	○	○	○	○
41	○	○	○	○	○
42	○	○	○	○	○
43	○	○	○	○	○
44	○	○	○	○	○
45	○	○	○	○	○
46	○	○	○	○	○
47	○	○	○	○	○
48	○	○	○	○	○
49	○	○	○	○	○
50	○	○	○	○	○
51	○	○	○	○	○
52	○	○	○	○	○
53	○	○	○	○	○
54	○	○	○	○	○
55	○	○	○	○	○
56	○	○	○	○	○
57	○	○	○	○	○
58	○	○	○	○	○
59	○	○	○	○	○
60	○	○	○	○	○
61	○	○	○	○	○
62	○	○	○	○	○
63	○	○	○	○	○
64	○	○	○	○	○
65	○	○	○	○	○
66	○	○	○	○	○
67	○	○	○	○	○
68	○	○	○	○	○
69	○	○	○	○	○
70	○	○	○	○	○
71	○	○	○	○	○
72	○	○	○	○	○
73	○	○	○	○	○
74	○	○	○	○	○
75	○	○	○	○	○
76	○	○	○	○	○
77	○	○	○	○	○
78	○	○	○	○	○
79	○	○	○	○	○
80	○	○	○	○	○
81	○	○	○	○	○
82	○	○	○	○	○
83	○	○	○	○	○
84	○	○	○	○	○
85	○	○	○	○	○
86	○	○	○	○	○
87	○	○	○	○	○
88	○	○	○	○	○
89	○	○	○	○	○
90	○	○	○	○	○
91	○	○	○	○	○
92	○	○	○	○	○
93	○	○	○	○	○
94	○	○	○	○	○
95	○	○	○	○	○
96	○	○	○	○	○
97	○	○	○	○	○
98	○	○	○	○	○
99	○	○	○	○	○
100	○	○	○	○	○

- 障害基礎年金および遺族基礎年金を受給されるためには一定の受給要件があります
- 学生納付特例を受けた期間は、将来受ける年金の受給資格期間に算入されますが、年金額には反映されません
- 学生納付特例が承認された期間の保険料は、10年以内であれば、古い期間から順に納付（追納）が可能です。（ただし、承認を受けた年度から起算して、3年度以降は、当時の保険料に一定の金額が加算されます）

★保険料の追納はJunko@cc

追納にあたっては、別途申請書の提出が必要になります。申し込みは本別町役場住民課戸籍年金担当または帯広年金事務所（☎0155-6515003）で行うことができます。

平成22年度の
国民年金保険料額は
1か月15,100円です。
お支払い方法によってお得な割引
もありますので、お気軽にお問い合わせ
ください。



詳しくは
役場住民課戸籍年金担当へ
☎22-81-288（課直通）

HELLO 仙美里小学校

学校教育目標

「人間性豊かな子」

- ☆ しっかり考え よく学ぶ子
- ☆ 思いやりがあり よく励む子
- ☆ 明るく たくましい子

「子どもも教師も輝く活力ある学校！」を旗印に主役である船員40人（児童）と航海士14人（教職員）を乗せた仙美里丸の航海も、いよいよ旅の終わりを告げようとしています。楽しかったこと、苦しかったことなど、大

きな波が押し寄せるたびに、みんなで話し合い、みんなで協力し、心をつなげて乗り越えてきました。それでは、写真で振り返る仙美里丸今年度後期編、どうぞご覧ください。

10月 JA農業体験学習



「これぞ、仙美里産さつまいもだ！」

11月 学習発表会



迫真の演技を披露する高学年劇

12月 地域公開参観日



「おまたせしました。ジュースです！」

目指す教育活動

一人ひとりの子どもを大切に
子どもと豊かに関わり心を通わせて

親子ふれあい料理教室



「田舎まんじゅう、早く食べたいな」

校内スケート記録会



寒風切りゴール目指す豆スケーター

お父さん手作りの雪山



ミニゲレンデに歓声を上げる子供たち

親子牛乳料理教室

牛乳をもっと食べよう！

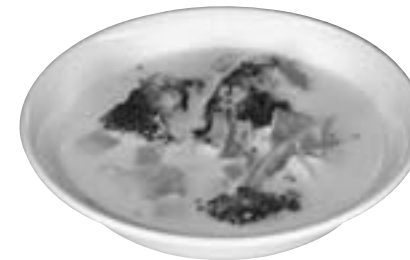
本別町 牛乳消費拡大推進委員会（伏見重廣委員長）主催による「親子牛乳料理教室」が2月28日、中央公民館で開催されました。

親子で牛乳に親しんでもらうことと、牛乳を食材として利用することで牛乳の消費を拡大しようと企画された同教室には11組26人の親子が参加。

参加者は、講師の遠藤良恵さん（十勝農業改良普及センター職員）の指導の下、本別で生産された牛乳やじゃがいもなどを使った「洋風ケーキ寿し」「じゃがいもピザ」「野菜たっぷりミルクスープ」の調理に挑戦し、調理終了後は出来上がった料理を参加者全員でおいしく食べました。



調理をする参加者



野菜たっぷり ミルクスープ

材 料（4～5人分）

- ブロッコリー ……1/2個
- ニンジン ……1/2個
- カブ ……1個
- 牛 乳 ……500cc
- 水 ……200cc
- コンソメ ……1個
- バター ……12g

作 り 方

- ①ブロッコリーは小房に分け、茎の部分は輪切りにしてサツとゆでる。
- ②ブロッコリー、ニンジン、カブを細かく刻む。
- ③鍋にバターを入れて熱し、ニンジンを入れて軽くいためる。
- ④ブロッコリーを入れて軽くいため、水とコンソメを加える。
- ⑤ひと煮立ちしたら、弱火にしてカブと牛乳を加えて野菜が柔らかくなるまで煮込み、塩・コショウで味を調える。

今回の教室で 調理されたレシピを 紹介します



じゃがいものピザ

材 料（4～5人分）

- じゃがいも ……3個
- モッツアレラチーズ ……50g
- トマトソース ……大さじ3
- 塩・コショウ ……少々
- オリーブオイル ……適量

作 り 方

- ①じゃがいもを千切りにし、水にさらす。
- ②フライパンにオリーブオイルをひいて、さらし終えたじゃがいもを広げて焼く。
- ③裏返して塩・コショウをし、トマトソース、モッツアレラチーズをかけて少し焼いて出来上がり。



洋風ケーキ寿し

材 料（4～5人分）

- お 米 ……2合
- 合わせ酢（砂糖 大さじ2・塩 小さじ1・食酢 60cc）
- 牛 乳 ……1ℓ
- 食 酢 ……大さじ4
- ロースハム ……4枚
- キュウリ ……1本
- 卵 ……2個
- のり・青しそ・紅しょうが ……少々

作 り 方

- ①ご飯を炊いておき、酢飯を作る。
- ②鍋に牛乳を入れて温め、60℃になったら酢を入れる。少しおいて木べらでやさしくかき混ぜるとカッターチーズとホエーに分かれてくる。ザルにキッチンペーパーを置き、こして出来上がり。
- ③卵をフライパンで焼く。スクランブルでも薄焼きでもOK。ゆで卵でもOK。
- ④ロースハム、キュウリを好みに刻む。
- ⑤ケーキ型にご飯と材料を好きなように重ねてケーキのようにデコレーションして、皿に盛って出来上がり。

第六次本別町総合計画

Part11

第六次本別町総合計画策定に向けた 町民アンケート結果について

広報ほんべつ一月号で町民の皆さんにご協力をお願いした「第六次本別町総合計画策定に向けた町民意向アンケート」について、いただいた意見をまとめましたので、今回はその一部をお知らせいたします。

寄せられたアンケート結果の主な注目点

- Q** あなたは、まちづくりの中で、今後、特に力を入れて進めていくべきものはなんでしょうか？（複数回答）
- 《トップ10》
- 第1位 就労場の拡充 91ポイント
 - 第2位 若者の定住促進のための施策 86ポイント
 - 第3位 高齢者福祉の充実 78ポイント
 - 第4位 児童福祉・子育て支援の充実 69ポイント
 - 第5位 医療体制の充実 68ポイント
 - 第6位 学校教育（小、中、高）の充実・幼児教育の充実 51ポイント
 - 第7位 農林業の振興 50ポイント
 - 第8位 公共交通機関の充実 43ポイント
 - 第8位 地域で支え合う福祉体制づくり 43ポイント
 - 第10位 地域活動・コミュニティ活動の促進 36ポイント

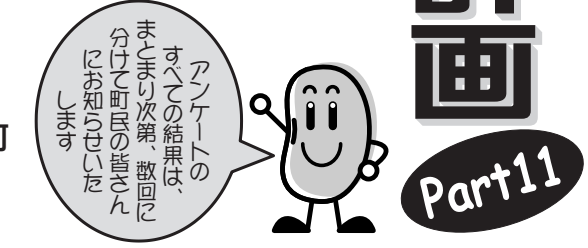
Q 今後、本別で取り組める仕事、雇用の拡大、起業等で、新たにどんなことが出来るか

Q 今後のまちづくりについて、あなたは本別町をどのようなまちにしたいと思いますか？

※この2つの間に関する意見を抜粋して掲載しています

まず組織の充実を図るべきである。そこで各分野ごとにプロジェクトチームを作りテーマを出し合い議論すべき。本別町には他町村にないすばらしい素材が多くある。基幹産業である農業の産物に対して付加価値を高める事、食品開発についても農業大学の知恵と設備の活用促進を図ること。観光事業にしても行事内容のマンネリ化を避け少しずつ変えた方が良い。民間の若い人たちの考えを取り入れてみては？集客年々減少している。
(70代男性)

次の世代へと、受け継がれる町づくりを。それには子どもを安心して産み育てられると思える、にぎやかで活気のあるまちが必要だと思います。まずはこのまちで子供を作りたいと思えるような、そのようなつながりがなければ高齢者への福祉サービスもいつか限界に来ると思います。
(20代女性)



多くの人から回答をいただきました。ありがとうございました

本別の基幹産業である「農業」に重点をおいた施策（まちおこし）をより進めていくべきだと思う。そこから雇用の促進につながるのでは。「町」「農協」「商工会」が連携することが重要では。
(40代女性)

総合計画についての問い合わせ
企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121 (課直通)

本別町地域新エネルギー ビジョン策定委員会 環境に配慮したまちづくり

本別町地域新エネルギービジョン策定委員会の梅津一孝委員長（帯広畜産大学教授）が三月四日役場を訪れ、高橋正夫町長に「太陽光発電等の利活用、地域の未利用バイオマス（食品残渣・家畜ふん尿）再生計画」報告書を手渡しました。

この報告書は、平成十五年度に策定された新エネルギービジョン（初期ビジョン）の中で重点項目となっていた、太陽光発電およびバイオマス資源の活用について、平成三十二年までに町内の二酸化炭素排出量をおおむね二五%削減を目指すことなどをまとめたもので、環境に配慮した内容となっ



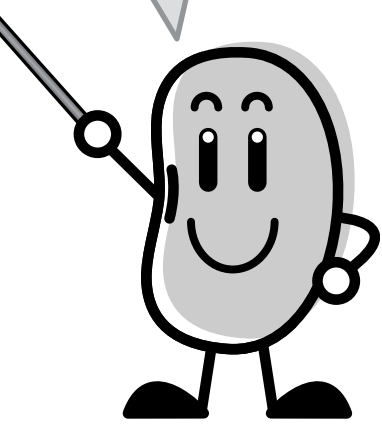
報告書を手渡す梅津委員長

町では、今回の報告を受け平成三十二年度から一般住宅用太陽光発電システム導入補助や街路灯のLED化などに取り組んでいきます。

太陽光発電をご家庭に!



町では、今年度から一般住宅への「太陽光発電システム」導入に対する補助を実施します。太陽光発電や補助制度の内容については、広報ほんべつ5月1日号の折り込みチラシでお知らせします。



新型インフルエンザ

新型インフルエンザは昨年の春にメキシコやアメリカで発生し、瞬く間に国内・道内に広がりを見せ、昨年八月には町内での感染者が確認されました。

これまで町では、関係機関と協議を重ね、新型インフルエンザについて広報やチラシによる啓もう活動、町国保病院での熱外来開設や医療機関での予防接種などの対策を進めてきました。

今年度についてもこれまでの対策を継続していきますので、町民の皆さまは引き続き手洗いやうがいなどの予防対策を怠らないようお願いします。

熱外来の診療時間

新型インフルエンザの発症は減少してはいますが、感染防止と発熱などの時に安心して受診していただくために、熱がありインフルエンザの感染が疑われる人については、引き続き必ず受診前に電話連絡をしてからご案内の時間に受診されるようお願いいたします。また、受診の際にはマスクの着用をお願いします。

診療時間

午前11時～正午（受付時間：午前11時30分まで）
午後4時～午後5時15分（受付時間：午後4時30分まで）

予防接種場所 および接種日

- 町国保病院
毎日の内科外来
- 幡医院
毎週水曜日



接種費用は1回 3,600円です

ただし、町民税非課税世帯に属する人（生活保護を含む）は、接種費用が免除（無料）されます。また、町民税課税世帯に属する人のうち、妊婦、1歳から就学前の幼児、小学生、1歳未満児等の保護者、中学生、高校生については町が半額助成します。

上記対象の人で、町外の医療機関で接種した場合は、町に領収書および接種済み証を持参して必要な手続きをお願いします。（手続き場所は左記の予防接種申し込みと同様です）

予防接種は予約が必要ですが お申し込み時には印鑑をお持ちください

接種を希望される人は、接種希望の一週間前までに来所のうえお申し込みください。お申し込み時には、税情報などに関する同意書が必要となりますので、印鑑をお持ちください。

- 健康管理センター（北六丁目） ☎22-2219
- 役場保健福祉課（北二丁目） ☎22-8130

新型インフルエンザに関するお問い合わせは、健康管理センターへ
☎22-2219

詳しい情報は本別町のホームページをご覧ください
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>
お知らせー新型インフルエンザ



町民の暮らしや生活の安心安全を守ることを目的に、「本別町が発注する工事等の契約からの暴力団等排除に関する合意書」が三月十八日、本別町と本別警察署（畠山隆署長）の間で締結されました。

次の要件に該当するときは、契約行為や 入札などから排除されます

1. 経営者本人やその企業の役員等が、暴力団員であるとき、または暴力団員が経営に事実上参加しているとき
2. 経営者本人やその企業の役員等が、業務に関し不正に利益を得るため、暴力団等を使用したと認められるとき
3. 経営者本人やその企業の役員等が、暴力団等に対して金銭や物品等、利益を不当に与えたと認められるとき
4. 経営者本人やその企業の役員等が、暴力団等と社会的に非難される関係を有していると認められるとき
5. 経営者本人やその企業の役員等が、下請契約、資材及び原材料の購入契約又はその他契約に当たり、1番から4番までのいずれかの項目に該当する者であるとき

「本別町暴力団等排除措置要綱」に関する詳しいことは、
総務課財務担当（☎22-8120）までお問い合わせください

本別町が発注する工事等の契約からの 暴力団等排除に関する合意書を締結

本別町商工会青年部40周年記念事業 ほんべつ未来塾 2/21

本別町商工会青年部（茂古沼裕部長）結成40周年記念事業ほんべつ未来塾「大人になっても本別で暮らした〜い！」が2月21日、町体育館で開催されました。未来を担う子供たちの思いを聞き、今後のまちづくりに生かそうとJA本別町青年部と町役場職員組合青年女性部の協力を得て同青年部が企画。町内の小中高生24人を含む計42人が、6グループに分かれ未来の本別町について話し合いました。子供たちからは、「本別町のテーマソングを作ってPRした方がいい」「豆まつりを行ったらいい」「大人と子供の話し合いの場をもっと増やしてほしい」など、子供たちの目線での意見が多く出されました。交流会では本別産小麦「きたほなみ」と「ホクシン」で作ったうどんの試食会も行われるなど、これからのまちづくりへの新しい第一歩を踏みだすきっかけの日となりました。



自分の知識を 生かした活動に喜び 2/24

成人講座「今こそ出番？ 本別版団塊の世代」第2弾が2月24日、シニア海外ボランティアOBの矢萩文雄さん（帯広市）を講師に招き中央公民館で開催されました。矢萩さんは、農家という環境で育った経験を生かした、パラグアイとウルグアイでの3年間の有機野菜技術指導の活動を紹介します。その中で「言葉も環境も違う外国でも、自分の知識を生かすことができて楽しかった。また行きたい」と話し、会場を訪れた7人の参加者は今後の参考にしようと熱心に耳を傾けていました。



学校と地域が力を合わせて 2/23

教育委員、小中学校長・教頭、学校支援委員30人による「教育委員と学び輝く学校支援委員との懇談会」が2月23日、中央公民館で開催されました。本別町子どもを育む学校支援本部実行委員会の新田美知子地域コーディネーターが、学校支援地域本部事業の取組状況について実践発表した後、参加者が3グループに別れて「子どもを見守る地域の役割」について活発な意見交換をしました。



町民囲碁大会 2/28

第30回町民囲碁大会（町文化協会、中央公民館主催）が2月28日、老人福祉センターで開催されました。静まり返った会場では、A、Bの2クラスに別れた参加者33人による熱戦が繰り広げられ、碁をうつ音が室内に響き渡っていました。本別町の上位者は次の通り。（敬称略）

- Bクラス
 準優勝 木村 恵さん（錦町）
 第3位 田西美恵子さん（共栄）



舞踊祭 2/28

第33回舞踊祭（町文化協会、中央公民館主催）が2月28日、中央公民館で開催されました。ステージ上では、着物やドレスを身にまとった7団体が、日ごろ練習を重ねた息の合った華やかな踊りを繰り広げ、会場を訪れた約200人の観客から温かい拍手が送られていました。



全道中学生の税をテーマとしたポスター募集 本中生5人が入賞 3/5

第24回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集（北海道主催）で入賞した、本別中学校の生徒5人への賞状伝達式が3月5日同中学校体育館で開かれ、松村博宣十勝支庁地域振興部長から賞状と記念品が手渡されました。入賞した生徒らは「まさか、受賞できると思っていなかったのうれしい」などと喜びを語ってくれました。受賞者は次の通り。（敬称略）

- 北海道知事賞 優秀賞 増子 愛弓（3年）
 ※道内初となる3年連続の優秀賞受賞
 北海道知事賞 入選 加納 眞（2年）
 十勝支庁長賞 金賞 上方里 紗（3年）
 十勝支庁長賞 金賞 石山 成美（2年）
 十勝支庁長賞 銀賞 紺野 美希（2年）



ばまキッズファミリー・デー 3/7

休日に家族で過ごしてもらおうと施設を開放する家庭支援・教育事業なかよしの「ばまキッズファミリー・デー」家族みんなで遊ぼうが3月7日、子育て支援センターで開催されました。参加した14組49人の親子は、おもちゃやジャングルジムなどで楽しい時間を過ごしたほか、心理カウンセラーの圓山嘉都美さんの「お父さんのためのストレスについてのお話」では、10人のお父さんが子育てに対する思いなどを語り合い交流を深めていました。



帯広市本別会 定期総会 3/13

ふるさと本別町の姉妹都市 ミッチェルへの義援金も

帯広市本別会（西藤亭会長、89人）の第75回定期総会が3月13日、帯広市内のホテルで開催され約40人が出席しました。本別町で開催される「つつじ祭り」に合わせ実施する「観桜会」では同時期に来日している本別町の姉妹都市オーストラリア・ミッチェルと交流を行うなどの平成22年度事業計画を承認し、役員改選では長年会長を務めた西藤会長が相談役に、副会長の相澤治副会長の会長への就任を承認しました。新会長となった相澤会長は「創立80周年に向けますます発展していくよう会員皆様のご協力を」とあいさつ。高橋正夫町長らが本別町の近況を報告し、会員はふるさと本別町の話などで親睦を深め、ビンゴゲームなどで盛り上がり上がっていました。



高齢者文化祭 3/14

第24回高齢者文化祭（町老人クラブ連合会主催：鎌田一平会長）が3月14日中央公民館で開催され、芸能発表コーナーや手作り作品展示でにぎわいを見せました。芸能発表には、36演目に84人が出演し踊りやカラオケなどを披露。作品展示では、手芸や陶芸などの多くの力作が並び、会場を訪れた多くの来場者の目を楽しませました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121（課直通）

みんなの健康

308

ロコモティブシンドローム（運動器症候群、通称：ロコモ）は、運動器（筋肉や骨など）の障がいによって起こる、介護が必要な状態や要介護リスクの高い状態をいいます。

近年は、高齢者が増え、それに伴い変形性関節症や骨粗鬆症が増えています。

増えってきました。つまりは、我々の運動器は八十年間使用できるように準備されていると言いうことです。

ですから、体の内側はメタボチェック、外側はロコモチェックを行い、内臓の寿命と運動器の寿命を延ばして、健康な生活を維持して行かねばなりません。

- ロコモチェック**
- ①片足立ちで靴下が履けない
 - ②家の中でつまずいたり滑ったりする
 - ③階段を昇るのに手すりが必要である
 - ④横断歩道を青信号で渡りきれない

- ⑤家の重い仕事が困難である（掃除機の使用等）
 - ⑥十五分くらい続けて歩けない
 - ⑦2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難である
- 一つでも該当する人は今日からロコモ予防の体操（一日三回）を始めましょう。

①開眼片脚起立運動
できる人は片方の脚で、左右一時間ずつ立ちます。難しい人は、机に両手をついて、片方の脚で立ちます。できるようなれば、指だけを机につくなど支えを減らしていきます。

②スクワット
できる人は通常のスクワットが

基本です。五〜六回繰り返します。難しい人は、机に両手をついて行い、できるようなれば、指だけを机につくなど支えを減らしていきます。痛みがある場合は、スクワットを浅くする、机の支えのもとに行う、フォームをチェックする必要があります。整形外科専門医を受診する必要があります。

いづれの場合も、転倒しないよう、つかまることができるような場所で行ったり、家族にいつでも支えてもらえるような状況で行います。
本別町国民健康保険病院
理学療法室 主査 小倉博志

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛で包まれてすくすく元気に育つね！



清流町 高橋りか (有美ママ)



南四丁目 佐藤希夢 (晴美ママ)



柏木町 前出兼伸 (有美ママ)



清流町 大河内唯衣 (朝子ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

銀河ホップステップ

足寄町

足寄動物化石博物館
からのお知らせ

足寄動物化石博物館は、4月から指定管理者による運営となりました。管理は、特定非営利活動法人(NPO)「あしよるの化石と自然」が担っています。

あしよるの化石をより広く知ってもらうため、化石体験(レプリカづくりやミニ発掘)の充実と

陸別町

第22回日産カップ
オールジャパン
パッチ選手権大会
in 陸別

往年のガキ大将よ...
その優れた技を存分に披露するがいい...

覚えていますか? 学校帰りに日の暮れるのも忘れて遊んだあのころ、「もっ一度あのころの腕を振

るいたい」そう思っているあなた! ぜひ一度ご参加ください。

- とき 4月18日(日) 午前10時
- ところ 陸別町タウンホール
- 参加資格 20歳以上の男女
- 参加料 1700円
- 参加申込 電話で先着96人
- 問い合わせ 申込先 陸別町役場産業振興課内 大会事務局 2712141
- 詳細 足寄動物化石博物館 2519100
- 入館料は今まで通りです
 - ・一般 400円
 - ・小・中学生、高校生、満65歳以上の方 200円

今年も感謝のついでに

私たち義経爛漫は昨年のきらめきタウンフェスティバルの演舞を最後とし、二月二十七日の総会をもって解散いたしました。



平成十年十一月に町民有志が集まりチームを結成してから十二年間、つづじ祭りなどの町内イベントや札幌で開催されているYOSAKOI祭り、年連続参加し、本別町をPRしてきたところ。この度、会員減少等の理由により解散することとなりましたが、今後も会員全員のつながりを継続し、ボランティア活動などに参加していきたいと思っています。

これまで、大旗の寄贈やあたたかい応援をいただいた多くの町民の皆さんには、改めて感謝とお礼を申し上げます。十二年間本当にありがとうございました。 義経爛漫会員一同

ご寄付ありがとうございます

平成22年2月16日から3月19日

- 次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町老人ホーム指定
 - タオル50本 新町 前仏清枝
 - タオル50本 上本別 尾澤 勝
 - タオル60本 共栄自治会婦人部一同

- タオル100本 柏木町 泉野 健
- タオル100本・オシボリ100本・ポケットティッシュ200個 勇足カラオケ愛好同志会
- ★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定
 - 金100,000円 新町 柴田良章
 - 金100,000円 新町 松山守雄
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★福祉でまちづくり推進事業
 - 金50,000円 義経爛漫リーダー 渡辺 徹

お誕生

2月後半から
3月前半の
届出分

佐藤 希夢^{のぞみ} 豊文^{とよふみ} 2/10 南4丁目
遠藤 春馬^{はるま} 寿明^{すけあき} 3/5 新 町
宮脇 愛莉^{あいり} 正幸^{まさゆき} 3/7 北 郷

ご結婚

(大木 周平^{しゅうへい} 西仙美里
福田 明子^{あきこ} 西仙美里

おくやみ

門脇 良男^{りょうお} 71歳 2/20 北1丁目
河原 美よ子^{みよこ} 95歳 2/25 美里別下1
柴田 かつ^{かつ} 98歳 2/26 新 町
高橋 ツル^{つる} 92歳 2/27 向陽町
岸田 浩治^{こうじ} 46歳 3/2 清流町
石田 辰雄^{たけお} 83歳 3/2 上押帯
部田 良美^{りょうみ} 87歳 3/8 北4丁目
松山 富雄^{とみお} 96歳 3/9 新 町
橋田 英二^{えいじ} 56歳 3/10 明 美

わたしたちのまち

前月比

人口 8,553人(-10)

男 4,212人(-6)

女 4,341人(-4)

世帯数 3,939戸(+1)

〔2月末日住民基本台帳〕

図書館ファースト・ブック事業の紹介冊子改訂版ができました。おなかの赤ちゃんへの読みきかせの大切さを、より分かりやすく伝える内容で、参加者の声や手づくり絵本の写真、図書館の利用案内も盛りこみました。町内の妊婦さんに、母子手帳交付時に健康管理センターを通じてお渡ししますが、この冊子を読んで、ぜひ図書館にお越しください。



ママにおすすめの絵本、赤ちゃんに読んであげてほしい絵本…図書館がよい本との出会いをお手伝いします!

赤ちゃんが初めて出会う手づくり絵本

パタパタ絵本



はい絵本

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112